

「大館市歴史的風致維持向上計画（案）」に対する意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

○実施概要

1. 意見募集の対象 「大館市歴史的風致維持向上計画（案）」
2. 意見募集の期間 平成28年11月1日（火） ～ 平成28年11月30日（水）
3. 公開の方法
 - ・市役所総務課総務係、市役所まちづくり課歴史まちづくり係、比内総合支所地域振興課、田代総合支所市民生活課、市役所各出張所、中央公民館、比内公民館で閲覧
 - ・市ホームページに計画（案）の本編と概要版を掲載
 - ・11月広報おおだてに「大館市の歴史まちづくり特集号」を掲載
4. 意見の提出方法
 - ・直接提出
 - ・郵送
 - ・ファクス
 - ・電子メール

○意見募集の結果

1. 意見の件数
 - ・意見を寄せた人数 18人
 - ・意見の数 40件（要旨の数）
2. 提出方法
 - ・持参1人
 - ・郵送9人
 - ・ファクス7人
 - ・電子メール1人
 - 計18人

○いただいたご意見と市の考え方について

18人の方からご意見をいただき、提出されたご意見と大館市の考え方は次のとおりです。
なお、提出いただいたご意見は、一部要約しています。たくさんのご意見ありがとうございました。

第1章 大館市の歴史的風致形成の背景について

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
1	第1章 第3節(7)	歴史には必ず先人の功德があり、単なる風致の問題ではない。 歴史的には、各分野（農業、工業、鉱業、商業、漁業、林業）や文化（誌、俳句、美術、民謡、謡曲、詩吟、短歌など）の先人を掘り出すことから始めたらどうか。	先人の功德については、第1章第3節(7)代表的な先人達で記載しています。また、大館郷土博物館では「先人顕彰コーナー」で先人をご紹介します。同じく大館郷土博物館ホームページ内の「先人顕彰の部屋」では、各分野の偉大な先人を発信しています。 今後も、「先人を顕彰する会」の方々の活動や市民と一緒に、専門家の皆様の助言をいただきながら、大館の先人に光を注ぎたいと考えています。

第2章 大館市の維持向上すべき歴史的風致について

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
2	第2章 第4節	太平洋戦争時と戦後の、二井田地区における秋田犬の囲い方の検証をするべき。	最初に、戦中・戦後の時代に、先人が苦勞して秋田犬を守り育てた史実を、第2章第4節で記載しました。
3	第2章 第4節	犬をテーマにした場合、大館駅前の秋田犬群像から始まって秋田犬会館・忠犬ハチ公生誕の地・老犬神社といった具合に関連関係あるものを線で結ぶやり方が、大きな物語になっていくので、個々のスポットに目を向けつつ、点と点をつなぐ線を考慮してほしい。	天然記念物秋田犬は、先人が結成した秋田犬保存会が中心となって、本部展覧会や関連行事を継続し、現在までその血脈を守る活動を継承してきました。この活動を今後も守り育てていくため、秋田犬保存会と課題などを共有し、大きな輪となる取り組みや物語の発信に取り組んでまいります。
4	第2章 第1・6節	歴史的に十二所（旧十二所町、明治22年施行）は過去においては、秋田領と南部領との国境に位置し、重要な場所であった。 慶長7年佐竹義宜が秋田に遷封後、変遷を経て茂木筑後知端に至るまで、十二所城主は10代180年余を世襲し明治2年迄に至っている等々、秋田藩北東の要塞であった。 浅利則頼は、永正15年に十狐城を築き秋田・南部の両軍に備えた。故に大館城下の町割りに残る歴史的風致を、浅利氏ゆかりの独鈷の歴史的風致の共同群の背景に提案したい。これがインバウンドや、市の活性化に繋がると思う。	十二所城関連については、第1章第3節(4)近世④大館城と十二所の町づくりで記載し、また同章第4節(2)代表的な文化財③市指定文化財の中で、十二所城代茂木家墓地について記載しています。 ご提言いただいた、「大館城下の町割りに残る歴史的風致」の背景に「浅利氏ゆかりの独鈷の歴史的風致」がある時代の紡ぎ方を、どのように発信できるのか検証してまいります。

第5章 文化財の保存・活用に関する事項について

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
5	第5章 第1節	<p>大館には何もない、だから人も来ないと考える市民の声をよく聞くがこれは身近な文化財や遺跡に、その価値を見出せないためと思われるし、行政もその価値を積極的に宣伝する力が不足しているためとも考えられる。加えて行政から点在する文化財（遺跡）を有機的に結合する方策が見えてこない。売り出すべき文化財（遺跡）の取捨選択であるが、それは中・高の日本史の教科書に載っている事項に絞ることである。これが即ち、全国的評価に耐えるものだからである。</p> <p>以上の観点から考えると、5つくらいになり、佐竹西家の城址（桂城公園）、八幡神社、花岡事件記念館、南地区の錦神社と温泉寺（それぞれ藤原泰衡と安藤昌益）、大滝温泉の曲田聖堂そして比内町の平安時代の遺跡である。</p> <p>これらの遺跡（記念物）も現状のままでは、集客力に乏しいことは自明の理である。</p>	<p>身近な文化財や遺跡の価値観に気づいていただくため、それぞれの地域で現地案内や発掘調査の公開など、地道な学習機会の創出や効果的な情報発信に努めます。</p> <p>市内各小・中学校では、子供たちがふるさとキャリア教育の一環として、地元の歴史や文化財の学習に取り組んでいるので、引き続きふるさとキャリア教育の充実に努めます。</p> <p>また、点在する文化財を有機的に結合する施策の実現に向けて、ソフト事業を基軸に、ハード整備と合わせ着実に具体化方策を積み重ねたいと考えています。</p> <p>代表的な文化財については、全市共通のものとして、保存や活用に取り組んでまいります。</p>

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項について

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
6	第6章 事業①	<p>大館城跡を大館のシンボルとして将来、大きな行事が出来るよう盾城をぜひとも造ってほしい。</p> <p>プールの場所も元はお堀であったので復活してほしい。</p> <p>市庁舎はどこに建てても構わないが、桂城公園は五稜郭の如き立派に行事や儀式が出来るようにもっと見直すべきである。</p>	<p>桂城公園は、現在計画が進められている新庁舎との調和や景観の一体化を図り、既存の堀と土塁を大切に、市民が誇りを持てる城址公園にふさわしい景観形成を目指します。また、賑わいの拠点となる広場整備や緑化を実施してまいります。</p> <p>城下町の町名板整備とあわせ、城下絵図にある門については、由来が把握できるQRコード付きの標柱の設置を検討してまいります。</p> <p>なお、現在進められている発掘調査の成果や城下絵図などの大館城に関連する史料は、新庁舎の一部を利用して展示したいと考えています。</p>
7	第6章 事業①	<p>桂城公園を城址公園として売り出すためには、公園内に〇〇跡という門柱が必要である。</p> <p>かつて郷土博物館に展示した旧藩時代の武具他を集めた大館城史料館を建設し、ジオラマ化した大館城の復元物、佐竹西家の系図や藩制期と現代を対比した城下図等の展示が必要である。このモデルとして最適なのは、秋田市千秋公園の佐竹史料館である。</p>	<p>桂城公園は、現在計画が進められている新庁舎との調和や景観の一体化を図り、既存の堀と土塁を大切に、市民が誇りを持てる城址公園にふさわしい景観形成を目指します。また、賑わいの拠点となる広場整備や緑化を実施してまいります。</p> <p>城下町の町名板整備とあわせ、城下絵図にある門については、由来が把握できるQRコード付きの標柱の設置を検討してまいります。</p> <p>なお、現在進められている発掘調査の成果や城下絵図などの大館城に関連する史料は、新庁舎の一部を利用して展示したいと考えています。</p>

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
8	第6章 事業①	<p>城下町にとって、城はその規模の大小に関わらず、その町の象徴です。城跡は、その町に住む人にとって「心のよりどころ」というか「誇り」であります。</p> <p>約半世紀前、桂城公園の堀や土塁、そして石垣の東側の半分が撤去され、市民プールになったときは、子ども心にも残念でありませんでした。ここにしかないものを壊し、どこにでもあるようなプールにしてしまうなど、当時の大人たちの感覚を疑ったものでした。</p> <p>大館市にとってはあまりに遅すぎた感がありますが、ここで新市長が町の歴史を大切にするお考えを示してくれたことは、とても嬉しく思います。</p> <p>そこで、是非お願いですが、市民プールが撤去されたこの機会に、大館城の本丸の堀と土塁、そして本丸の入り口の片方の石垣の復元をしてほしいと思います。とても困難なことは分かりますが、熊本城も何十年もかけても復元しようとしています。</p>	※前頁同様の考え方であります
9	第6章 事業①	<p>博物館を本丸跡にもってきてほしい。大館には、歴史的史料がたくさんあります。日本の歴史の中で、大館盆地ほど、その時代時代の特徴的な現象面をもっているところは、国内でもまれなところだと思っています。</p> <p>「残っていくものが文化」と思います。また「守っていかなければならない文化」もあります。文化は、壊すものではありません。残念ながら大館は、持っていた文化を自ら壊してきました。</p> <p>これからは、そのような「ふるさと大館」になってほしくないという願いをこめて、お願いいたします。</p>	

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
10	第6章 事業⑬⑰	<p>南地区の藤原泰衡ゆかりの錦神社と安藤昌益の墓がある温泉寺も更なる説明板の充実とともに専門ガイドがほしいところである。日本史上著名な人物が大館ゆかりであることを発信したい。</p> <p>県内唯一のロシア正教の曲田聖堂は、全国的にも高く評価されており来訪者は山下りんのアイコンや正教の知識がなくとも、その荘厳さに魅了される。</p> <p>また、最近脚光をあびた、十和田火山噴火により埋没した平安時代の住居跡・水田跡は、生きた歴史教材であり全国的にも貴重なので専門家にしっかりと価値を見出してもらい、売り出すものとする。</p> <p>最後に、何より肝要なことは、点在する遺跡等を有機的に結合させる方策である。これにはやはりバスやタクシーによる貸し切りが不可欠であり特にタクシー運転士への教育は焦眉の急である。</p>	<p>各地区にある歴史的資産については、地元の取り組みと合わせて、案内板や説明板などを順次整備する予定です。</p> <p>片貝遺跡は現在発掘調査が進められており、現場見学会には県内外から多くの方々が訪れ、関心が高まっています。今後も引き続き、関係機関のご指導、ご協力を得て、市民の関心をより一層高められるよう努めてまいります。</p> <p>来訪者が市内に点在する歴史的資産を巡るための交通手段として、バスやタクシーなどは必要不可欠なため、関係団体と協議をしております。</p>
11	第6章 事業⑰	<p>私達は1980年代から花岡事件の現地案内をしてきましたが、1997年からシーズンを通して対応するためサークルを20名で組織し研修を積み重ねながら実施しています。</p> <p>2001年からは要望に応え、安藤昌益、小林多喜二関連も併せて案内しています。2016年末までに案内回数は290回、案内した人は7,000人を越えました。</p> <p>市の交流人口、経済効果にもいささか寄与しているのではと思っています。昌益、多喜二、花岡事件は中高の歴史教科書にも記述されていますし、全国やアジアの人々で関心を寄せている人も少なくありません。</p> <p>過去をしっかりと見つめ、現在、未来を展望するのが歴史だとするならば、まず市民が関心を寄せ、知ることが大切だと考えますし、市外に向けても広く発信したいものです。</p>	<p>市がこの計画に取り組む以前から、案内ガイドの活動を継続していただいている実績に対して敬意を表します。</p> <p>計画に取り組んだ背景には、まず市民が大館の歴史や文化に関心を寄せ、知ることが大事で、そのうえで歴史的風致の価値を高め、地域活性化や交流人口の増加につながるという考え方がありました。</p> <p>今後は先人の功績や歴史的資産についても、来訪者向けに歴史などを説明できる案内人の育成を考えていますので、ご協力をお願いします。</p>

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
12	第6章 事業⑩	・十二所城跡の観光資源化 ・越山神社を核とした観光資源の掘り起こし	地域の魅力を発信できるガイドブックの作成や、各地区の歴史的資産を巡る「まち歩き」など、地元の皆さんとともに取り組んでまいります。
13	第6章 事業⑬	錦神社を訪れた人は、敷地内に西木戸神社の案内があれば、きっとそちらの方にも足を向けたくなるので、連想を働かせて、食、歴史、建造物等の大館を売り出すものを点だけではなく線あるいは面として表現してほしい。	建造物や文化財の所有者が不在の場合でも、携帯端末などで歴史や文化を把握できる QR コード付き多言語表示案内板の設置を進めてまいります。
14	第6章 事業⑮⑰	火内の浅利一族から大館城代の小場義成、明治へ繋がる戊辰戦争など、また道路と河川から羽州街道で繋ぐ歴史づくりが必要である。 例えば、城郭の復元や明治又は江戸の街道復元とか、何かメインとなり、市民が誇れるものがほしい。	歴史的資源を効率良く巡るための情報を得やすくするために、文化財や観光案内のホームページへリンクが可能なシステムの構築を検討してまいります。 また、羽州街道や鹿角街道に沿うそれぞれの地域に歴史や文化があるため、訪れる目的に合わせたマップの作成や歴史案内人の育成を目指しています。
15	第6章 事業⑮⑰	ソフト事業にある「まち歩きマップ作成」に、市全域にある石碑を確認、調査のうえ、所在を載せてほしい。	
16	第6章 事業⑮⑰	従来型の歴史を散歩する観光を提供するだけでなく、小坂町のブルートレインのように体験型の観光を提供できないか。 大館市に来なければ出来ないことを発信することこそ最も必要なことではないか。 グルメ旅は、そこに行かなければ食べられないから行くのであり、どこでも食べられるのであればわざわざ行く理由はない。	大館の先人から受け継がれてきた大館曲げわっぱ（伝統的工芸品）の製作やきりたんぼづくりの体験、伝統的な食の提供は、大館を訪れる皆さんへのおもてなしに繋がると考えます。関係団体と情報を共有し、今後も更なる充実を図り広く PR してまいります。
17	第6章 事業⑳	花岡事件記念館見学の後、鳥潟会館で当市の誇る曲げわっぱで、駅弁全国一を誇る鶏めしを食してもらうのも一興ではないか。	
18	第6章 事業⑩⑬	JR 大館駅には改札口を出た正面の壁に「ようこそ佐竹西家の城下町大館へ」の大看板と興味をそそる案内板（写真入）が必要である。 ハチ公の駅は、単に秋田犬の施設にとどまらず、集約観光施設とし、観光客が土産を購入するのは駅に近いところなので、曲げわっぱやきりたんぼ、名物菓子（バナナ・明け鳥・えだ豆）のテナントも入ってほしい。	大館の玄関口である駅周辺の整備にあたっては、JR 東日本（株）の方々と連携し、来訪者に大館の魅力を発信し、継続的な賑わいを創出することを目指します。 ハチ公の駅(仮称)は、天然記念物秋田犬の歴史や文化に身近に触れ合うことができるように配慮し、観光物産スペースを併設するなど、総合的な観光施設を目指してまいります。

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
19	第6章 事業②③ ⑥⑦⑧	<p>市民や客が訪れない施設や建造物は取り壊し、写真や映像で残すのがスマートであり、維持費用をかけてはいけない。工法や細工に価値があるならその部分だけを保存すべきである。</p> <p>歴史的建造物の活用は難易度が高いが、鹿角市のコモッセのような新しく機能的な建物の方が活用される。</p> <p>無電柱化よりも市民のための整備はないか。お祭りよりも大事で早く便利で快適にしてほしいことは山積している。</p>	<p>歴史的建造物の活用や保全については、まずは調査を行い、修理方法や活用の仕方を建造物の所有者とご相談し、専門家のご意見をお聞きしたうえで、事業内容を判断することになります。</p> <p>城下の佇まいを後世に残し歴史的風致の維持向上を図るために、地域の皆さんと一緒に具体的な方策を検討してまいります。</p> <p>事業期間は10年ですが、事業内容を検証し、場合によっては計画変更も視野に入れ取り組んでまいります。</p>
20	第6章 事業④(4) ⑳	<p>秋田犬の風致は新聞記事で観光施策などが見られるが、城下の町割りには歴史的建造物の修復、道路整備などのハード面に偏り観光向上にはならない。また市民が地域の活性化のため、どう参加するのか見えない。扇田、鳳凰山、田代、浅利は具体的事業計画がない。</p> <p>6つの風致以外の事業計画も検討すべきである。</p>	<p>歴史的建造物の保存補修や道路の美装化だけでなく、市民と一体となって、まち歩きマップの作成や歴史案内人の育成などのソフト事業に取り組むことにより、交流人口の増加を目指します。</p> <p>6つの歴史的風致や各地域に残る歴史的資産を維持し、さらに向上するために必要なソフト事業にも、地元の皆さんとともに取り組みます。</p>
21	第6章 事業⑤	<p>長木川堤防の歯抜けの桜を保護し、また補植し「桜並木」を復活させてほしい。</p>	<p>地区座談会でも、長木川堤防はじめ、岩神ふれあいの森の一万本桜や街路樹をきれいにしてほしいなどのご意見がありましたので、良好な景観の維持に努めてまいります。</p>
22	第6章 事業㉑	<p>地域の課題として、通行人が少ないシャッター通り、少子化で踊り子や運行者がいない祭囃子や子供みこし、観光バスが来ても折れ曲がり荒れた桜の木、後継者がいないため解散した町内会や老人会など多くあるように思う。</p> <p>課題を議論した経緯も見えず、地域応援プランのような提案型の方法では解決できるとは思えない。</p>	<p>人口減少や少子高齢化などの課題を踏まえたうえで、市民の営みや当市の歴史・文化・伝統に光を注ぐ取り組みが歴史まちづくりです。</p> <p>「景観十年・風景百年・風土千年」の言葉があるように、時間はかかりますが、国や県の支援のもと大きな柱となる事業に取り組み、さらに地区ごとの課題には、当市の地域応援プランを活用いただき、息の長いまちづくりを市民とともに歩んでいきたいと考えています。</p>

大館市の歴史まちづくりの取り組みについて

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
23		<p>大館は合併で成り立ってきた歴史があり、合併前の各地域の歴史を忘れないでほしい。</p> <p>地区座談会などを開催しているが、短時間で理解されないので、継続していく組織が必要と思われる。</p>	<p>計画を策定するにあたり市民の皆さんへの周知が大きな課題であったため、広報やホームページに掲載するなどして、周知に務めてきました。また地区座談会では、歴史まちづくり法の概要を説明し、歴史の掘り起こしや、各地区の課題の共有に努めてまいりました。しかし、次世代を担う若い方々や女性の参加が少なかったため、引き続き、市民へ情報を発信し、広く意見を募集してまいります。</p>
24		<p>今回まちづくり法を手法として持ち出したのは大館市の観光の向上と地域の活性化であるわけだから市全体にどんなまちづくりの課題があり、それを誰がどのように、いつまで解決するか、また予算等の具体的な計画が提示されなければならない。</p>	<p>また、今後も地区座談会を継続し、課題の把握に努めるとともに、事業の効果や財政状況を考慮し、優先順位を見極めながら取り組んでまいります。</p>
25		<p>維持向上計画の文面から熱意やパワーを感じません。何になりたいのか、もっとどうしたいとか少ないと思います。</p> <p>着地点やあるべき姿が分かりづらいです。古い建物や秋田犬の枠にとらわれ過ぎずに自由発想の意見を募集すると良いと思います。</p>	<p>歴史的風致を維持向上する活動については、市民が参画しやすい組織の立ち上げを検討し、歴史まちづくりを進めたいと考えています。</p>
26		<p>当面の認可を取るためだけの急いだ計画(案)の印象が強い。10年かけてやるというわけだから机上プランを主とするだけでなくもっとやり方を考えるべきです。</p> <p>例えば100人委員会のような参加者を募り1年ぐらいかけて数グループのワーキングで課題や対応策などを検討し、各種団体、議員を巻き込んで推進するべきです。</p> <p>結局、事業はハードよりソフトで、いかに多くのソフトを創造できるかだと思います。認可を受けたら、いかに大館を変えるかの分かりやすいストーリーを市民に示すことが必要で、もっと市民が参加しないと本来の目的が達成できないと思います。</p>	
27		<p>「大館市民歌」市民が広く歌えるような手立てを。中川康多氏の作曲による芸術性の高い感じの曲なのに諸行事で歌われることが少ない。</p> <p>敬老会の「秋田県民歌」は分かるとしても、せっかくの市民歌を歌う場を拡げて、若いこれからの人達には是非とも浸透させてほしい。</p>	<p>今後も市の主催行事や地域のイベント、学校行事などで、市民歌にふれる機会が増えるように検討してまいります。</p>

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
28		<p>大館市を愛する一人として、まち歩きの参加募集はとても良いと思うし、参加もしました。小学校から高校、老人クラブや婦人会などの団体、若者の参加があればと思う。</p> <p>人口減少、働く若者の県外流出が残念である。市内を歩いて気づいたことは、秋一番にイチョウの葉のゴールドや桜の葉の紅葉など町なみがきれいなことである。</p> <p>その町なかで八幡神社祭りや若者が集まるハロウィン、よさこいや太鼓まつり、またお寺での盆踊りなど歴史と自然が一体となる催しの開催はいかがですか。</p>	<p>大館城下のまち歩きを企画したところ、多くの市民に参加いただきました。引き続き、地域が誇る歴史的資産を地区住民にご紹介できるまち歩きを企画したいと考えています。</p> <p>街路樹などは町なみにおける良好な景観として、市民や来訪者が身近に触れ合える環境なので、今後も維持に努めてまいります。良好な景観と一体となる大館らしい行事についても、検討してまいります。</p>
29		<p>確かに過去の歴史は大事かも知れないが、未来の歴史を作っていくのはこれから生きていく人々です。こんな事にお金を使っていれば益々若い世代の流出は避けられません。</p> <p>お金の使い道を考えればこれからの時代を作って行く人々に使うべきである。</p> <p>新しい体育館、野球場、道路、インフラなどが必要である。</p> <p>ノーベル賞なら話は別ですが遺跡発掘等に使うお金があったら、新しい世代のために新しいプールを早く作って下さい。</p>	<p>この計画は、若い世代を含め市民の皆さんに大館の歴史や文化を知っていただきたいとの願いを込めて取り組んでいます。</p> <p>今後のまちづくりにおいて、インフラの整備や老朽化した公共施設の再編が必要となります。そして、少子高齢化が進む社会情勢に対応していくためにも、市民の皆さんと一緒に、施設整備を計画的に進めてまいりたいと考えています。</p>
30		津軽藩の参勤交代での越山ルートの解明	<p>本計画書策定の取り組みの中では、様々な史実の解明まで至りませんでした。今後も、歴史研究家の方々や地域の皆様と、地域の歴史の検証や学習を深める機会を増やしたいと考えます。</p>
31		<p>田代地域にある大巻の舟場跡と大館地域の舟場という地名や、大館神明社近くにある佐々木刃物、佐々木こうじ店、一中南側にある空堀りなど戊辰戦争の合戦地はどう扱うのか。</p>	<p>歴史的な記録を積み重ね、点と点が結びついて史実が市民の共通認識や物語へつながってほしいと考えています。そのような中で、戊辰戦争のことは記載しておりますが、合戦地に特化した内容について紹介する方法を検討してまいります。</p>
32		<p>曲げわっぱの歴史は分かりますが、その他の歴史については、ほとんどが分かりません。</p>	<p>大館市の歴史については、大館郷土博物館(大館市釈迦内字獅子ヶ森)や大館郷土博物館ホームページでもご紹介しておりますので、ご利用ください。</p>

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
33		<p>東北大会があっても行事が出来ない、宿泊も無理なので大きなホテルが必要である。また大企業の誘致が必要と思う。民間の力を活かす方法はないでしょうか。大館にも新幹線が延びればと願う。</p>	<p>宿泊先の確保や企業誘致など、色々な方面との連携を考えてまいります。</p>
34		<p>鳥潟右一という無線電話機の発明者がいることから、無線の歴史に対して定期的に無線フェアを開催し、無線愛好家が望む交信記念カードを発行してほしい。フェアでは友好都市条約を結んでいる町と交信してほしい。南相馬市も無線塔の歴史のある町であり、大館市も無線塔を建設してほしい。</p> <p>大館 FM も設立していくべきで、全国に PR する目的のためには普通の歴史だけでは足りず、大胆なことが求められる。鉱石を使って、鉱石ラジオ教室もやってみてはどうか。</p> <p>鳥潟博士の功績を眠らせておくのはあまりにも悲惨なので、子供たちに夢を追いかけてもらいたい。誰でも世界を変える未知の可能性のあることを教えて伝えてほしい。</p>	<p>鳥潟右一による無線電話実用化の成功は、現在の通信技術の発展に繋がっています。右一氏縁の鳥潟会館（県指定文化財）とともに、その功績を伝えてまいりたいと考えています。</p> <p>また将来の子供たちに夢を与えられる取り組みについても、関係団体と情報を共有し検討してまいります。</p>
35		<p>観光客を呼ぶために花輪線をリゾート列車に仕上げ、大館駅では昔ながらの駅弁売りを実現し、盛岡から弘前まで快適に過ごしてもらおう。リゾート白神だけに頼るだけでは足りず、黙っていても観光客を全部弘前方面に持っていかれる。</p> <p>大館に立ち寄ってもらうために、市の良さを知って、おもしろそうな町を他の人に伝えてほしい。</p>	<p>今後は、歴史的風致維持向上計画の先進地である弘前市とも連携を図り、観光情報を共有しながら交流人口の増加に取り組んでまいります。</p>
36		<p>白沢から陣場にかけてのトンネル（風穴）では、列車マニアが写真撮影のために大勢来ているため、車を走らせることも必要だ。</p> <p>どんな企画でも観光客を呼び込むことを実行してほしい。</p> <p>人々はマニアック化しており、こだわりのある物事には金銭をいとわない。観光スタイルが昔とは違ってきている。</p> <p>駅前を再開発できないなら、根下戸付近は交通の利便性が良いので、最大の大型イオンモールを作るべきと考える。</p>	<p>長走風穴は、高山植物群落（天然記念物）のファンだけでなく、全国各地から鉄道写真の愛好者が一年中訪れる隠れた名所になっています。</p> <p>観光スタイルを画一化せず、こだわりのあるお客様にも大館の歴史的資産へ足を延ばしたいと思える PR を推進してまいります。</p> <p>市の玄関口である大館駅は、賑わいの創出や拠点づくりとして、駅ビル、駅前広場やハチ公の駅（仮称）の整備計画を進めてまいります。</p>

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
37		<p>様々な支援が打ち出されている中で一番重要なのは「人づくり」である。</p> <p>歴史案内人の育成のみならず市職員は勿論のこと、市民全体の意識改革こそが何よりも街の活性化に直接結びつける役割を成す。どんなに立派なパンフ、ガイドブック、読本を作っても眠らせておいたのでは何にもなりません。おもてなしは人づくりからと考えます。</p> <p>施設等で来客者に対して気持ち良く魅力的に対応してくれた職員や関係者に出会ったことはありません。残念ですが事務的対応です。</p> <p>他県の施設訪問の際、職員のみならず掃除のパートの方までもが心地良い挨拶を目の当たりにしました。心温まる思いだった事は言うに及ばず、又来たい、行きたいと思いました。</p> <p>活性化を望むなら、先ず人づくりで営業感覚を持って職務にあたる人間を育てる事です。市長の頑張りに追随して、皆が一丸となって取り組まなければ、すべての支援が無駄使いになります。</p> <p>民間会社の経験のある方をリーダーとして進めたらいかがですか。</p>	<p>新総合計画では、市民とともに「ひと」「暮らし」「まち」が相互に関わり合いながら、本市の未来に繋がるものがたり(歴史)をつくることを、まちづくりの基本理念として位置付けています。</p> <p>大館を訪れる皆さんをお迎えするにあたっては、市職員一人一人が率先して「おもてなしの心」で接する必要があります。その自覚をもって、毎日の職務にも気持ちを込めて取り組んでまいります。</p> <p>また、民間の方々のご意見を取り入れ、官民一体となり取り組んでまいります。</p>
38		<p>「大館小唱」発表(昭和7年)北鹿新聞社歌詞募集に応じた三村雄吉(本名石井博夫氏)のものが採用、作曲大村能章(東海林太郎「野崎小唄」昭和10年の人気作曲家)歌は春夏秋冬の4番まで今でも通用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 春は花咲く お城の跡は 昔ながらの きりょうよし 水で化粧する 桜花 ああ 大館よいとこ花のまち 2. 夏はうれしい 長木の川へ 月の出しおに 十和田湖の 帰り迎えて 灯がともる ああ 大館よいとこ杉のまち 3. 秋はよせくる 黄金の波は お倉いっぱい 八千石の 菊見の宴の 切たんぼ ああ 大館よいとこ菊のまち 4. 冬はつむ雪 スキーですべる 桂男子は 雪そだち 意地をみせたや 秋田犬 ああ 大館よいとこスキーの町 	<p>「大館小歌」が作られた当時と現在の町なみは大きく変わりましたが、先人が愛した「大館」が、歌を通じて私たちに伝えられているように思います。</p>

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
39		<p>明治の戊辰戦争で大館市中が灰燼に帰したことはさておいて、城跡に尋常高等小学校が設置されたことによって、城下町のシンボルである大館城跡は数少ない歴史書と古老の記憶の中に留まるだけのものとなってしまった。</p> <p>加えて昭和 30 年代の度重なる大火によって城下町の町なみは、経済優先の都市計画、利便重視の道路計画により見るも無残に破壊されてしまった。枳形も土居も堀さえも邪魔ものでしかなかったのだろう。</p> <p>そうした中で具体的に都市計画を進めようとしても、困ったことに旧市内の地形高低差が大きく平坦な土地は極めて少なく、道路は作れても建物の建造にはすこぶる不向きな地形であるため思うように都市計画が進まず、デベロッパーの思いのままに進められる結果となってしまった。</p> <p>そればかりではなく、つい最近まで細々とその命を保ってきた羽州街道の松並木が学校建設の犠牲となって切り倒されてしまった。今まさに歴史的風致を進めようとしている矢先のことで、行政の責任と言わざるを得ない。</p> <p>また一方でコンパクトシティを標榜しながら公共施設の殆どが市の周辺へ押しやられ、市民生活の利便が損なわれていることも見逃せないが、これも地形に起因していると考えられる。</p> <p>これら過去からの流れの中で、こうした現実を踏まえて歴史まちづくりを進めようという施策は、心ある市民待望の計画であり城下町を取り戻す千載一遇の機会であると言わざるを得ない。</p>	<p>度重なる大火から復興を重ねた歴史と、たゆまぬ努力で形成された現在の町が、先人から私たちに受け継がれてきました。近年は、郊外で宅地開発が進む一方、市中心部では空き家の増加や商店の閉鎖が顕著になるなど、新たな問題も生まれてきているため、都市機能の総合的な回復が必要な時代になっています。</p> <p>今後は、歴史を活かしたまちづくりに取り組みながら、良好な町なみと景観を形成してまいります。</p>

No.	意見箇所	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
40		<p>市長の思いは、景観十年、風景百年、風土千年であります。その通りであるにしても人の気持ちは見た目に左右されがちである。</p> <p>この度の計画策定は専門的見地からのものであろうが、一般市民の判断も大きくかけ離れるものではなく、その進捗状況には固唾をのんで見守ることになると思う。</p> <p>いくら思いが強くても実際にどのような形になって現れてくるのか。即ち見た目にどのような変化となるのかに大きく期待を寄せることになると思う。</p> <p>私達は長い間市政の運営にもの申すことなく、お上頼りのお任せに終始してきたので、今急に町づくりに協力してくださいと言われても、一体何をどのように協力すればよいのか分からない。だからといって協力をやめてしまうというのではない。</p> <p>結論は、この計画を早期に効果的に進めるためには、私達市民は一体何をどのように協力すれば良いかを示していただいた方が、力の出し方も違ってくるのではないか。</p> <p>例えば歴史愛好家の団体、芸術団体、スポーツ団体、文芸団体、自治会、老人クラブ、婦人会などの組織に対して、何をどう協力してもらいたいかを示すのも一つの方法ではないかと思う。</p> <p>とにかく市民を巻き込むことなしに、市や計画を担当した人達で進めようとしなくてほしい。まさに今市民に当てはめて考えようではないか。当局には、そのヒントを少し具体的に示してほしい。</p> <p>市民一人一人に未来永劫に向けた千年の思いがあれば、とりあえずの見た目のものなど容易であろう。</p> <p>私達市民の思いが強ければ、国の認定は間違いないものとなろう。大いなる期待を持って見守っていききたい。</p>	<p>大館市には、市街地を見守る美しい山々のやすらぎのある景観、米代川と長木川の恵みによってもたらされている美しい田園の景観、また流域の歴史に育まれた植物群落や湿原、溪谷などの景観が残されており、四季折々の自然が人々に潤いや楽しさを与えています。</p> <p>これら大館固有の良好な景観を未来へつなぐことが、私たちの責務と考えています。</p> <p>こうしたまちづくりの取り組みは、市民と行政が一体となって継続しなければ到底成し遂げることはできないため、今後も市民と課題や情報を共有する座談会などを開催し、ともに進める体制づくりを目指してまいります。また、「まちづくりに関する情報」を広く市民に発信する施策についても検討してまいります。</p>